SupplyCare Enterprise
在槽データの管理および視覚化
- スタートマニュアル -

Endress+Hauser
People for Process Automation

1 改訂履歴

ソフトウェアバージョン 3.3.xx
- 変更/コメント：登録商標の更新。一般トラブルシューティングセクションの追加。
- 関連資料：BA00054S/00/A2/21.19

ソフトウェアバージョン 3.4.xx
- 変更/コメント：ソフトウェアのアンインストールに関する補足の注意事項。
- 関連資料：BA00054S/00/A2/22.20

ソフトウェアバージョン 3.5.xx
- 変更/コメント：システム要件の更新。
- 関連資料：KA01579S/00/01.22（BA00054S の後継資料）

ソフトウェアバージョン 3.6.xx
- 変更/注意：インターネットブラウザ、関連資料、OPC Bridge 用の .NET Framework に関する情報の更新。
- 関連資料：KA01579S/00/02.25

ソフトウェアバージョン 3.7.xx
- 変更/注意：インターネットブラウザ、関連資料、OPC Bridge 用の .NET Framework に関する情報の更新。
- 関連資料：KA01579S/00/03.26

2 本説明書について

2.1 登録商標

以下の商標は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- Microsoft®
- Windows®
- Windows Server®

以下の商標は、Google LLC の登録商標または商標です。
- Google™
- Google Chrome™
- Google Maps™

以下の商標は、米国およびその他の一部の国における Cisco Systems, Inc. および/またはその関連会社の登録商標または商標です。
IOS®

以下の商標は、米国およびその他の国で登録された Apple® Inc. の商標です。
- Safari®
- iPhone®
- iPad®

2.1.1 登録商標に関する法律上の表示

すべての会社名および/または製品名および/またはすべての会社ロゴは、Endress+Hauser、その関連会社、または関連するそれぞれの所有者の商標および/または登録商標である場合があります。

3 製品説明

3.1 納入範囲

- KA01579S（DE/EN） - 本スタートマニュアル
- DVD-ROM - 以下に示す必要なすべてのソフトウェアコンポーネントと追加の関連資料が収められています。
  - SupplyCare Enterprise ソフトウェア
  - KA01579S（SupplyCare Enterprise のスタートマニュアル）
  - BA02532S_0226_BA00055S_2322（DE/EN）（SupplyCare Enterprise の取扱説明書）
  - OPC ライブラリ
  - OPC Bridge
  - BA02533S_0226_BA01365S_0216（DE/EN）（OPC Bridge の取扱説明書）
  - リリースに関する情報が記載された README テキストファイル（リリースノート、readme.txt）
  - ライセンス使用許諾契約に関する情報が記載されたテキストファイル（license_en.txt）

3.2 ライセンス使用許諾契約

インストールに必要なソフトウェアコンポーネントは、無償で入手可能なもの、または製造元のライセンス条件に従うものです。

お使いのコンピュータにソフトウェアをインストールすることにより、当該ライセンス使用許諾契約の条件に同意することを宣言するものとします。

4 設置

4.1 システム要件

4.1.1 インターネットブラウザ

デスクトップ用ブラウザ：
- Microsoft® Edge 149 以上
- Mozilla Firefox 150 以上
- Google Chrome™ 149 以上

モバイル機器用ブラウザ：
- Google Chrome™ 149 以上
- Safari®（iOS 26 以上）

ブラウザ設定：
- Active Scripting：有効
- JavaScript：有効
- Cookie：許可

これらは SupplyCare Enterprise アプリケーション用の Endress+Hauser の公式推奨ブラウザです。他のブラウザバージョンや技術を使用した場合、機能や表示が制限される場合があります。

4.1.2 オペレーティングシステム

- Microsoft® Windows® 10（Enterprise）
- Microsoft® Windows® 11（Enterprise）
- Microsoft® Windows Server® 2022（Standard）
- Microsoft® Windows Server® 2025（Standard）

SupplyCare Enterprise は、初期設定では Microsoft Windows のサービスとして、Apache Tomcat 環境下のアプリケーションサーバー上で作動します。オペレータと管理者は、その PC からウェブブラウザ経由でアプリケーションを操作します。

Windows の更新後に自動再起動を行うと、Windows サービス SupplyCare Enterprise が開始されない場合があります。その場合、SupplyCare Enterprise は起動しません。

対策：Windows サービスアプリを起動し、Windows サービス SupplyCare Enterprise を選択してサービスを開始します。

推奨：コンピュータのメンテナンス設定を変更してください。オペレーティングシステムの更新を自動実行ではなく、手動で管理してください。

4.1.3 ハードウェア

SupplyCare のバージョンがすでにインストールされ、アクティベートされている場合、コンピュータハードウェアに変更を加える前に、まずライセンスを返却する必要があります（**ヘルプ** > **ライセンス情報** > **ライセンスの返却**）。ンピュータのハードウェア変更が完了したら、ソフトウェアを再度アクティブ化してください（**[ヘルプ]** > **[ライセンス情報]** > **[ソフトウェアのアクティブ化]**）。

- プロセッサタイプ：4 コア、3 GHz 以上
- メインメモリ（RAM）：8 GB（空きメモリ）
- ハードディスク（HDD）空き容量：50 GB（フルインストールの場合）、データベースサイズに応じて異なる
- モニタ解像度、表示：1280 x 800

最低要件には、サーバーにインストールされているサーバーオペレーティングシステムやその他のアプリケーション（例：ウイルス対策ソフトウェア）の要件は考慮されていません。実際の要件および製品機能は、システム設定やオペレーティングシステムに応じて異なる場合があります。ハードウェア要件は、必要なユーザー数やフェールセーフ性能などによって大きく異なります。

4.1.4 データベース

PostgreSQL（納入範囲に含まれる）

4.2 ソフトウェアのインストール

4.2.1 インストール要件

- コンピュータの管理者権限を持っていること
- 他のすべてのアプリケーションが終了されていること
- コンピュータが最低限のシステム要件を満たしていること

4.2.2 準備作業

1. SupplyCare Enterprise CD-ROM を CD/DVD ドライブに挿入します。
   ↳ SupplyCare Enterprise Installation Manager が自動的に起動します。注意：自動起動しない場合は、**setup.exe** ファイルをダブルクリックして Installation Manager を起動します。その後はインストール指示に従ってください。

2.

インストールプログラムの言語を選択します。

4.2.3 SupplyCare Enterprise ソフトウェアのインストール

インストールは、インストール処理中に複数のポイントで容易に中止できます。その場合、状況に応じた例外が記録されます。インストールをキャンセルする場合は、**キャンセル**をクリックします。

1.

ソフトウェアをクリックして、利用可能なソフトウェアの概要を確認します。注意：**関連資料**では、CD に収められているすべての関連資料（スタートマニュアル、取扱説明書、リリースノート、ライセンス使用許諾契約）を確認できます。

2.

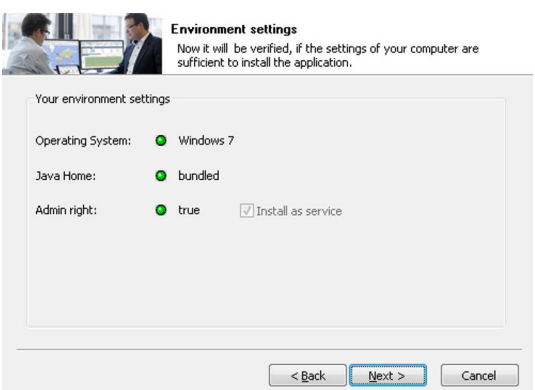
SupplyCare Enterprise（64 ビット）をクリックして、ソフトウェアのインストール処理を開始します。

↳ プログラムの設定プロセスを支援する SupplyCare 設定ウィザードが起動します。SupplyCare 設定ウィザードが開きます。

3.

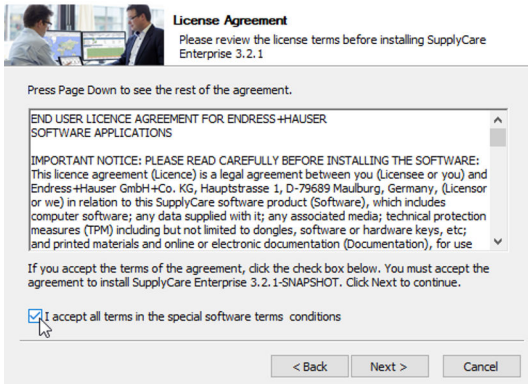
次へをクリックして続行します。

↳ SupplyCare 設定ウィザードにより、システム要件が満たされているかどうかがチェックされます。たとえば、システム環境変数が正しく設定されているかどうかがチェックされます。



4. **次へ**をクリックして続行します。

5.

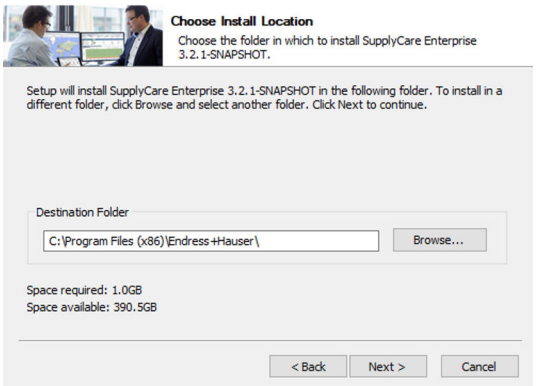


インストールを続行する前に、**ライセンス利用許諾契約**ダイアログボックスでライセンス使用許諾契約を最後までよくお読みください。

6. 本契約のすべての条項に同意する場合、
次のチェックボックスをオンにします：☑**特殊ソフトウェア規約のすべての条項に同意します。次へ**をクリックして続行します。

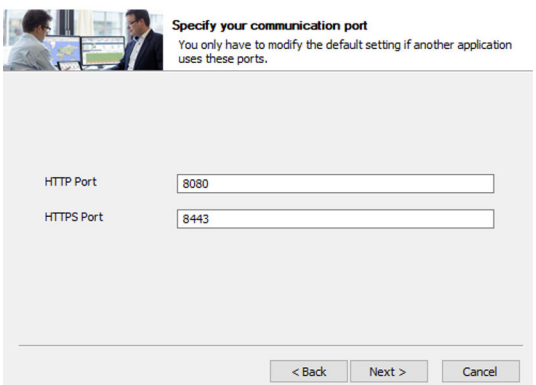
7. 本契約の条項に同意しない場合、
キャンセルをクリックして、インストールをキャンセルします。

8.



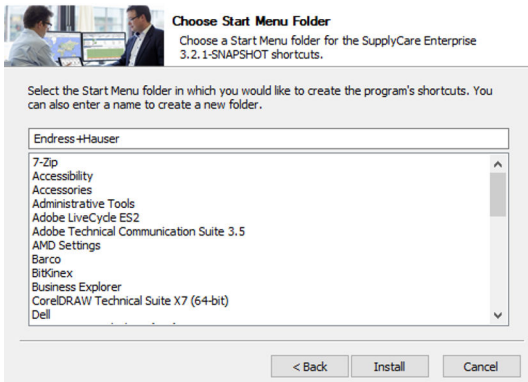
SupplyCare セットアップウィザードは、SupplyCare Enterprise ソフトウェアをインストールする既定の **[インストール先フォルダー]** を提案します。別のインストール先フォルダーを選択する場合は、**[参照]** をクリックしてください。注意：インストールパスはドライブ名を含めて最大 50 文字です。**次へ**をクリックして続行します。

9.



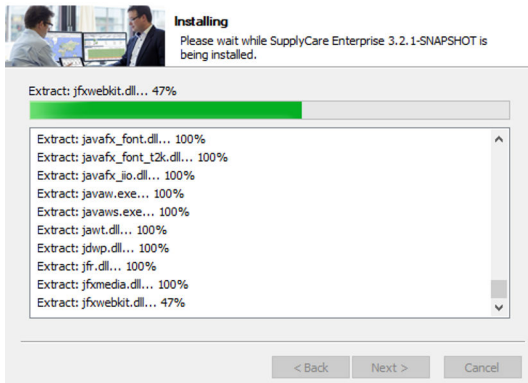
Web サーバーのポートを指定します。**次へ**をクリックして続行します。

10.



本プログラムのショートカットを作成するスタートメニューフォルダを選択します。名前を入力して新しいフォルダを作成することもできます。**インストール**をクリックして続行します。

↳



SupplyCare Enterprise は、**[宛先フォルダー]** で指定されたフォルダーにインストールされました。SupplyCare Enterprise ソフトウェアがインストールされるまでお待ちください。ソフトウェアがすべてインストールされると、**次へ**ボタンがアクティブになります。

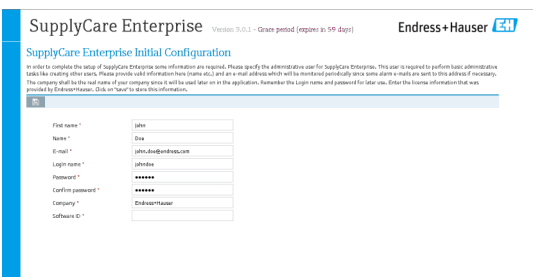
11. **次へ**をクリックして続行します。

12.

完了をクリックして設定ウィザードを閉じます。

4.2.4 初期設定

インストールを完了するには、いくつかの情報が必要です。



1. SupplyCare Enterprise アプリケーションの管理者を指定します。このユーザーは、追加ユーザーの作成などの基本的な管理作業を実行するために必要です。
2. 有効な Email アドレスを指定します。
3. 管理者が今後ログインするときに使用するログイン名とパスワードを入力します。
4. SupplyCare を使用する会社名を入力します。今後、アプリケーションでは、この会社名が使用されます。

5. Software ID を入力します。シリアル番号および Software ID は DVD カバーの分離型ラベルに明記されています。

ボタンをクリックして入力内容を保存します。

データベースが初期化され、アプリケーションが起動します。

データベースを初期化できない場合は、以下の手順を実行します。

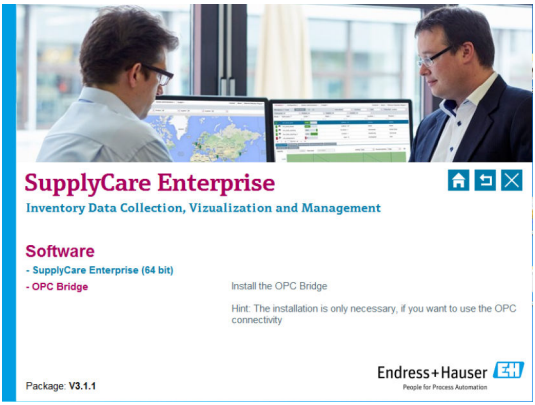
1. SupplyCare Enterprise アプリケーションの管理者を指定します。このユーザーは、追加ユーザーの作成などの基本的な管理作業を実行するために必要です。
2. Windows サービスアプリを起動します。
3. Windows サービス **SupplyCareEnterprise** を選択し、サービスを停止します。
4. ファイルシステムから ...\SupplyCareEnterprise\data\database\supplycare フォルダを削除します。
5. Windows サービスアプリを使用して、Windows サービス **SupplyCareEnterprise** を再起動します。
6. ウェブブラウザを起動し、ブラウザのアドレス行に初期設定用のページアドレスを入力して、ページを再度読み込みます：
http://localhost:8080/SupplyCareEnterpriseGUI/page/dbinit/InitializeDB
7. 各フィールドに入力して入力内容を保存します。

4.2.5 OPC Bridge のインストール

OPC 接続を利用する場合に限り、**OPC Bridge** をインストールする必要があります。**OPC Bridge** をインストールする前に、コンピュータに適切なバージョンの .NET Framework がインストールされ、有効化されていることを確認してください。詳細については、**OPC Bridge** の関連資料を参照してください。

OPC Bridge の取扱説明書は DVD に収められており、システム要件とインストールに関する情報が記載されています。

▶



OPC Bridge をクリックして、ソフトウェアのインストール処理を開始します。

5 ソフトウェアのアップデート

SupplyCare Enterprise ソフトウェアを古いバージョン 3.x から新しいバージョン 3.x に更新する場合、まずソフトウェアライセンスを更新する必要があります。

1. ライセンスを更新します → 🗎 27。
2. 「SupplyCare Enterprise ソフトウェアのインストール」セクションの手順 1〜4 を実行します → 🗎 6。

古いバージョンの SupplyCare Enterprise からソフトウェアアップデートを実行する場合は、その古いバージョン以降にリリースされたすべてのバージョンについて、ソフトウェアを段階的に更新する必要があります。

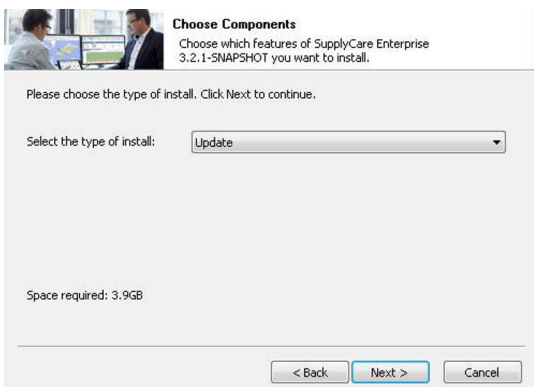
例：バージョン 3.0 がインストールされています。このソフトウェアをバージョン 3.2 にアップグレードしたいと考えています。バージョン 3.0 から 3.2 までの間にバージョン 3.1 がリリースされています。この場合、最初にバージョン 3.0 から 3.1、次にバージョン 3.1 から 3.2 にソフトウェアを更新します。

インストールは、インストール処理中に複数のポイントで容易に中止できます。その場合、状況に応じた例外が記録されます。インストールをキャンセルする場合は、**キャンセル**をクリックします。

インストールタイプを選択する必要があります。既存の SupplyCare Enterprise インストールを更新する場合は、インストールタイプ **Update** が適切です。

インストールタイプとして**インストール**を選択した場合、次のメッセージが表示されます：「既存のインストールが検出されました。そのため、実行できるのは更新のみです。クリーンインストールを行う場合は、最初に古いバージョンをアンインストールしてください。」

この場合、古いバージョンをアンインストールしてください。その後、ソフトウェアを再インストールできます。

▶ 

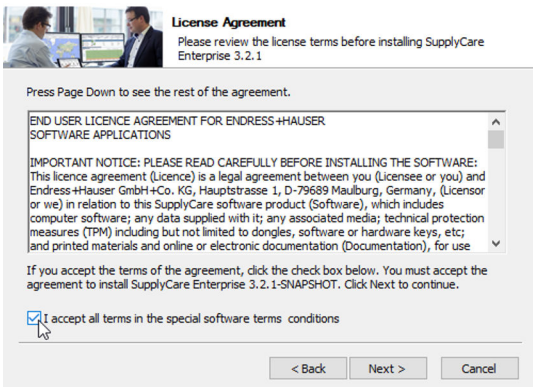
インストールタイプとして **Update** を選択します。**次へ**をクリックして続行します。

次のメッセージが表示される場合があります：「ソフトウェアの更新中はサービスを停止する必要があります。**SupplyCareEnterprise** サービスを停止してから、更新を再開してください。」

▶ **SupplyCareEnterprise** サービスを停止します（**コントロールパネル** > **管理ツール** > **サービス**）。

その後、更新を続行できます。

1.

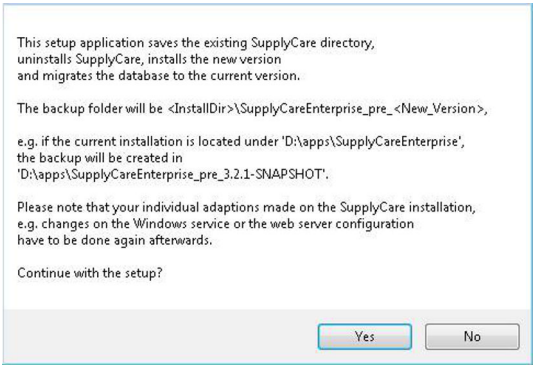


インストールを続行する前に、**ライセンス利用許諾契約**ウィンドウで、ライセンス使用許諾契約を最後までよくお読みください。

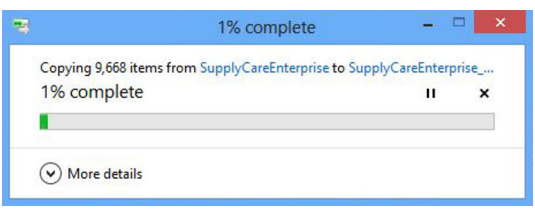
2. 本契約のすべての条項に同意する場合、
次のチェックボックスをオンにします：☑**特殊ソフトウェア規約のすべての条項に同意します。次へ**をクリックして続行します。

3. 本契約の条項に同意しない場合、
キャンセルをクリックして、インストールをキャンセルします。

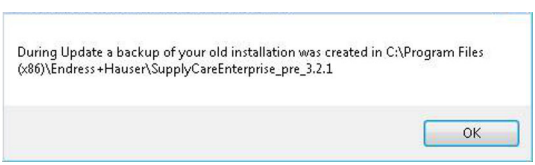
ソフトウェアアップデート中に、更新プロセスに関する情報が表示されます。



1. **はい**をクリックして続行します。
   ↳ データベースおよび SupplyCare Enterprise インストールのすべてのコンポーネントのバックアップコピーが、関連フォルダに作成されます。このプロセスの所要時間は、データベースサイズと SupplyCare Enterprise がインストールされているコンピュータハードウェアに応じて異なります。

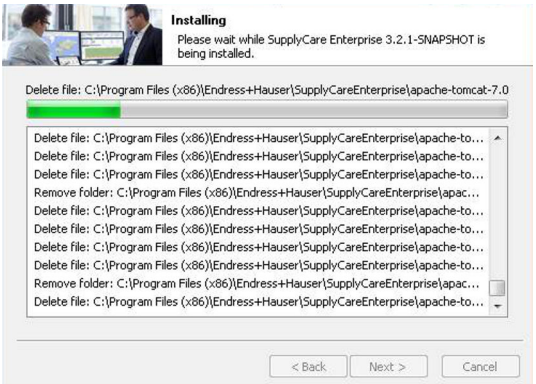


プロセスが完了するまでお待ちください。

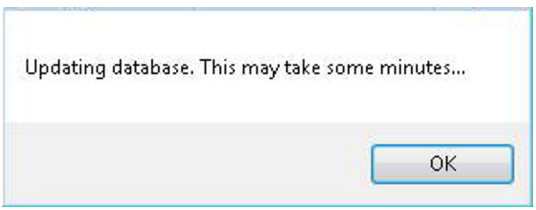


バックアップコピーが作成されます。

2. **OK** をクリックして続行します。



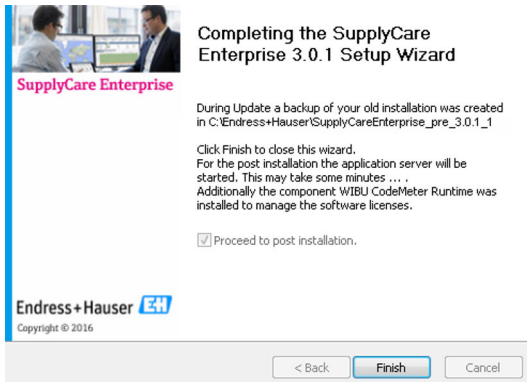
ソフトウェアが更新されます。プロセスが完了するまでお待ちください。



データベースが更新されます。

3. **OK** をクリックして続行します。このプロセスには数分かかる場合があります。

↳



ソフトウェアアップデートが完了しました。

4. **完了**をクリックして設定ウィザードを閉じます。

↳ 以下のウィンドウが表示されます。

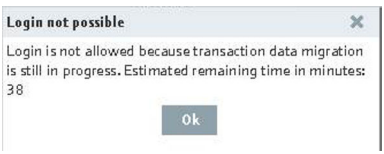
5. **トランザクションデータの移行を開始する**をクリックして移行プロセスを開始します。

↳ バックグラウンドでプロセスが開始され、移行が完了するまでユーザーアクセスが制限されます。

SupplyCare Enterprise の旧バージョンで中断したところから作業を続行する場合は、**トランザクションデータの移行が絶対に必要となります**。トランザクションデータの移行に必要な時間は、データベースサイズに応じて異なります。移行プロセスは数時間かかる場合があります。初期設定が正しいことを確認するために、移行プロセスを最後まで中断せずに実行する必要があります。

移行中に進捗を確認できます。

1. **OK** をクリックして進捗を確認します。
   ↳ 移行がまだ完了していない場合は、別のダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスには、移行が完了するまでの推定残り時間などが表示されます。



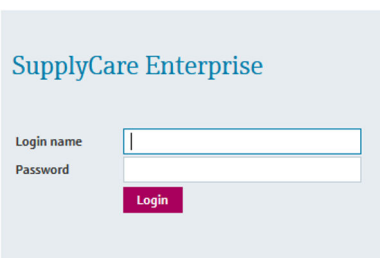
2. **OK** をクリックしてウィンドウを閉じます。
3. 所定の時間が経過し、保存されている測定データの移行が完了すると、システムが使用可能になり、ユーザーがログインできるようになります。

6 アプリケーションの起動

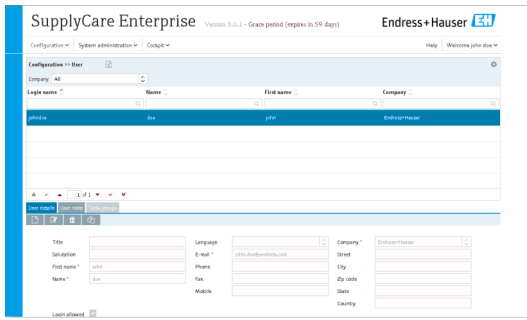
6.1 ログイン

SupplyCare Enterprise はインターネットブラウザの言語設定を使用します。

インストールが正常に完了すると、以下のダイアログボックスが表示されます。



1. ログイン名とパスワードを入力します。
2. **ログイン**ボタンをクリックして入力内容を確定します。
   ↳ ブラウザウィンドウに**設定**メニューが表示され、**ユーザー**メニュー項目が表示されます。ユーザーインタフェースビューは、管理者がログインしているユーザーに割り当てたユーザーロールに応じて異なります。



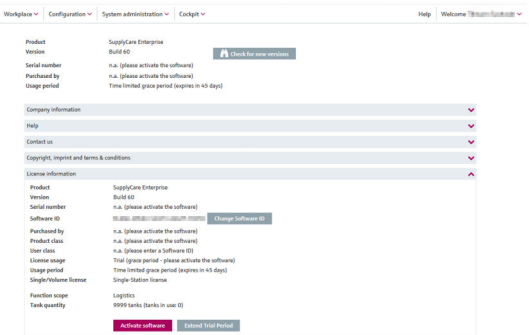
- 可能な場合は、ログイン後すぐにソフトウェアをアクティベートしてください。アクティベートされていないソフトウェアは機能範囲が制限され、60 日間しか使用できません。
- ソフトウェア機能の詳細については、取扱説明書を参照してください。取扱説明書は付属の DVD に収められています。

6.2 ソフトウェアのアクティベーション（インターネット接続あり）

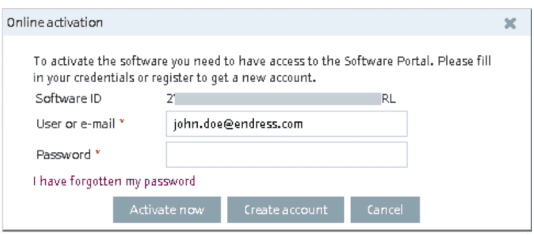
この操作を行うには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルのユーザーアカウントのアクセスデータが必要です。ソフトウェアポータルへのリンク：https://software-products.endress.com。Endress+Hauser 製品のライセンスは、ソフトウェアポータルで管理できます。ソフトウェアポータルにログインするためのアクセスデータが不明な場合は、会社のライセンス管理者に問い合わせるか、または**ソフトウェアのアクティベート**手順の実行後に**アカウントの作成**オプションを選択してください。

ソフトウェアのアクティベーション

1. **ヘルプ**メニュー項目をクリックします。



2. **ライセンス情報**をクリックします。
3. **ソフトウェアのアクティベート**をクリックします。



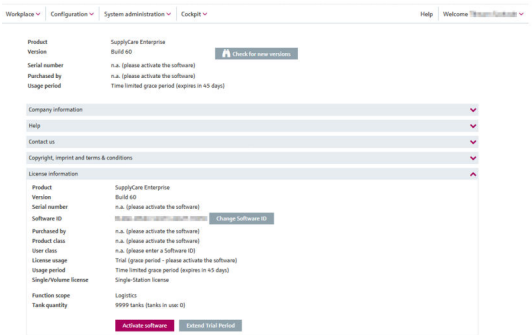
4. **今すぐアクティベート**をクリックします。
   ↳ アクティベーションが正常に完了したことを示すメッセージが表示されます。

6.3 ソフトウェアのアクティベーション（インターネット接続なし）

この操作を行うには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルのユーザーアカウントのアクセスデータが必要です。ソフトウェアポータルにログインするためのアクセスデータが不明な場合は、会社のライセンス管理者にお問い合わせください。

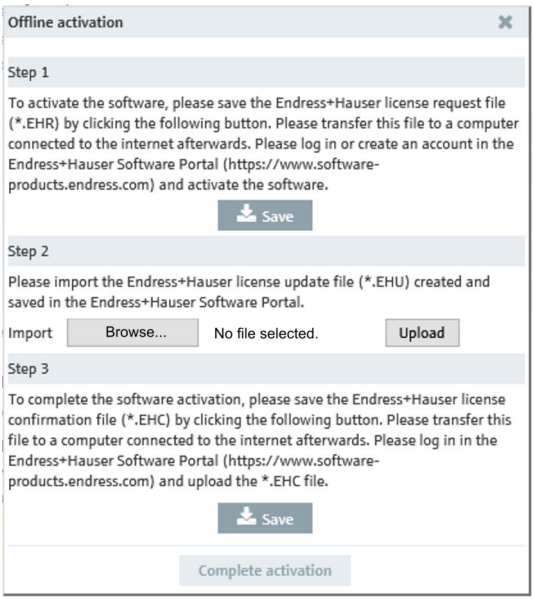
ソフトウェアのアクティベーション（インターネット接続なし）

1. **ヘルプ**メニュー項目をクリックします。



2. **ライセンス情報**をクリックします。

3. **ソフトウェアのアクティベート**をクリックします。
   ↳ インターネット接続がない場合、オンラインアクティベーションを実行できないことがプログラムで認識され、手動アクティベーション用のダイアログが表示されます。



4. 画面の指示に従います。

6.4 ライセンスの返却（インターネット接続あり）

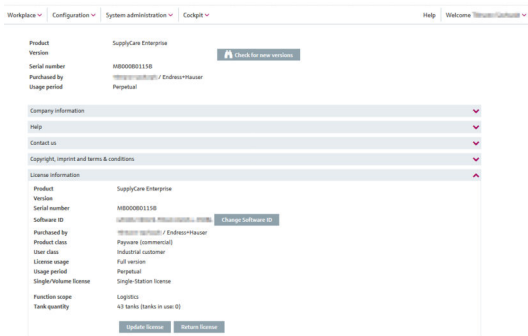
SupplyCare Enterprise を新しいコンピュータにインストールする場合、すでに使用されているライセンスを Endress+Hauser ソフトウェアポータルに返却する必要があります。その後、再インストール後にライセンスを再び使用できるようになります。

ライセンスの返却時には、次の点に注意してください：ライセンスが返却されると、ソフトウェアは再アクティベートされるまで使用できなくなります。

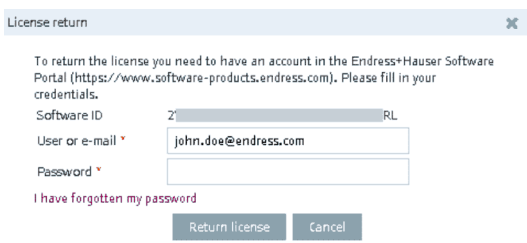
この操作を行うには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルのユーザーアカウントのアクセスデータが必要です。ソフトウェアポータルにログインするためのアクセスデータが不明な場合は、会社のライセンス管理者にお問い合わせください。

ライセンスの返却

1. **ヘルプ**メニュー項目をクリックします。



2. **ライセンス情報**をクリックします。
3. **Return License** をクリックします。
   ↳ ダイアログボックスが表示されます。



4. アクセスデータを入力し、もう一度 **Return License** をクリックしてログイン情報を確定します。
   ↳ ライセンスが正常に返却されたことを示すメッセージが表示されます。

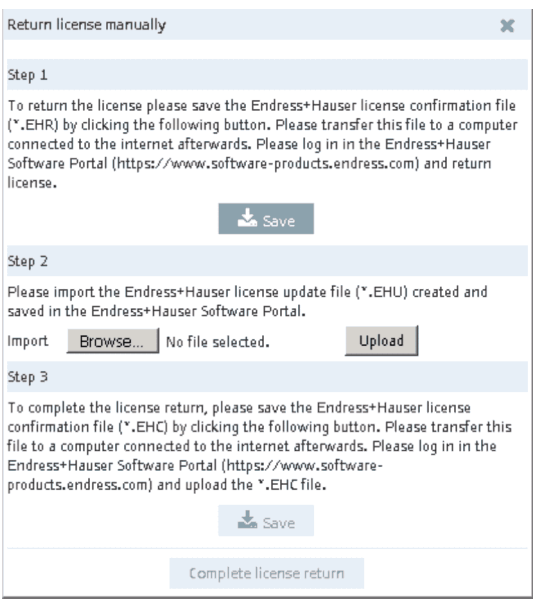
6.5 ライセンスの返却（インターネット接続なし）

この操作を行うには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルのユーザーアカウントのアクセスデータが必要です。ソフトウェアポータルにログインするためのアクセスデータが不明な場合は、会社のライセンス管理者にお問い合わせください。

ライセンスの返却時には、次の点に注意してください：ライセンスが返却されると、ソフトウェアは再アクティベートされるまで使用できなくなります。

ライセンスの返却（インターネット接続なし）

1. **ヘルプ**メニュー項目をクリックします。
2. **ライセンス情報**をクリックします。
3. **Return License** をクリックします。
   ↳ インターネット接続がない場合、オンラインでライセンスを返却できないことがプログラムで認識され、ライセンスを手動で返却するためのダイアログが表示されます。



4. 画面の指示に従います。

6.6 ライセンスの更新（インターネット接続あり）

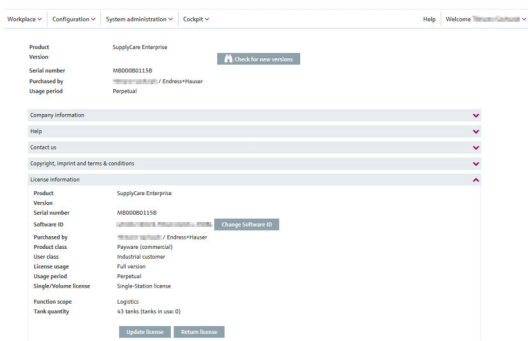
ライセンスの更新において、弊社営業所もしくは販売代理店との契約を更新し、たとえば、タンク数を 80 から 200 に増やした場合などに、新しい契約内容を有効化するには、ライセンスを更新する必要があります。

この操作を行うには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルのユーザーアカウントのアクセスデータが必要です。ソフトウェアポータルにログインするためのアクセスデータが不明な場合は、会社のライセンス管理者にお問い合わせください。

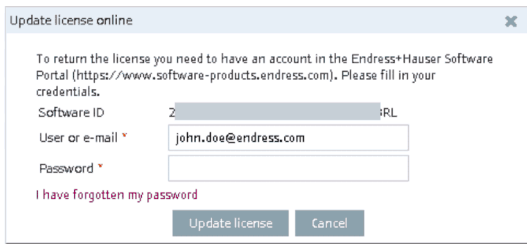
ライセンスを更新するために、ソフトウェアを再インストールする必要はありません。

ソフトウェアのライセンスアップグレードの更新

1. **ヘルプ**メニュー項目をクリックします。
   ↳



2. **ライセンス情報**をクリックします。
3. **Update license** をクリックします。
   ↳ ダイアログボックスが表示されます。



4. アクセスデータを入力し、もう一度 **ライセンスのアップデート** をクリックしてログイン情報を確定します。
   ↳ ライセンスが正常に更新されたことを示すメッセージが表示されます。

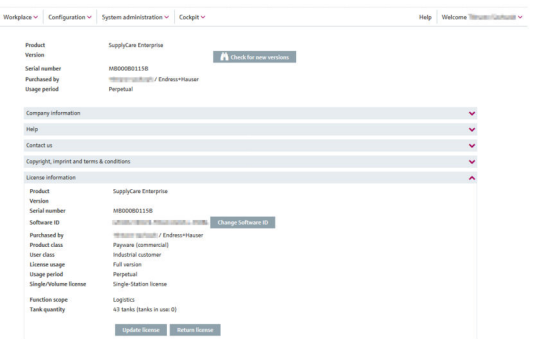
6.7 ライセンスの手動更新（インターネット接続なし）

この操作を行うには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルのユーザーアカウントのアクセスデータが必要です。ソフトウェアポータルにログインするためのアクセスデータが不明な場合は、会社のライセンス管理者にお問い合わせください。

ライセンスを更新するために、ソフトウェアを再インストールする必要はありません。

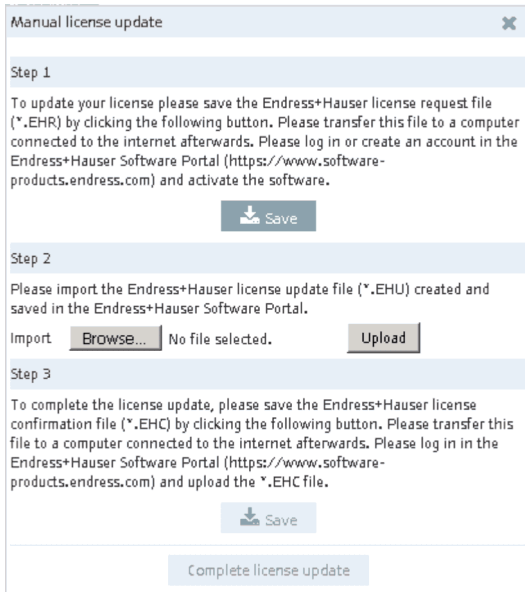
ソフトウェアのライセンスアップグレードの更新

1. **ヘルプ**メニュー項目をクリックします。
   ↳



2. **ライセンス情報**をクリックします。

3. **Update license** をクリックします。
   ↳ インターネット接続がない場合、オンラインでライセンスを更新できないことがプログラムで認識され、ライセンスを手動で更新するためのダイアログが表示されます。



4. 画面の指示に従います。

6.8 Software ID の変更

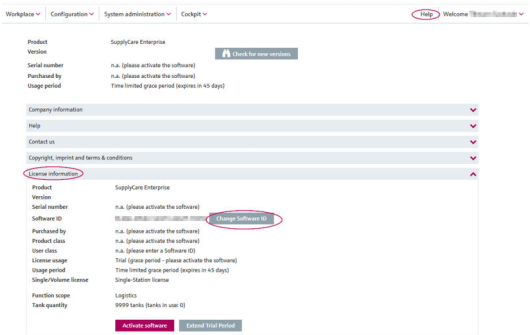
Software ID を変更できるのは、試用期間中など、ライセンスがアクティベートされていない場合のみです。当該ライセンスがすでにアクティベートされている場合は、Software ID を変更する前にライセンスを返却する必要があります。ライセンスを返却する場合は、**ライセンスの返却**ボタンをクリックします（**ヘルプ** > **ライセンス情報** > **ライセンスの返却**）。

ライセンスを更新するために、ソフトウェアを再インストールする必要はありません。

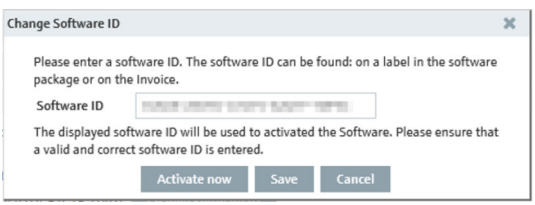
Software ID の変更

1. **ヘルプ**メニュー項目をクリックします。

2. **ライセンス情報**をクリックします。



3. **ソフトウェア ID の変更**をクリックします。



4. 有効な Software ID を正しく入力します。
5. **アクティベート**をクリックし、新しい Software ID を使用してソフトウェアをアクティベートし、新しい Software ID を保存します。
6. **保存**をクリックして、ソフトウェアをアクティベートせずに新しいソフトウェア ID を保存します。**キャンセル**をクリックして、プロセスをキャンセルします。

7 ソフトウェアの削除

SupplyCare Enterprise をアンインストールする場合は、以下の手順を実行します。

1. ライセンスを返却します。
2. 必要に応じて、SupplyCare Enterprise サービスを手動で停止します。
3. 実行ファイル **uninstall.exe** を実行します。
4. アンインストールプログラムの指示に従います。

uninstall.exe ファイルを実行しても、すべての SupplyCare ファイルが自動的に削除されるわけではありません。ソフトウェアアップデートの前に自動的に作成された SupplyCare のバックアップやコピーなどのファイルは保持されます。SupplyCare を完全にアンインストールする場合は、このようなファイルをインストールフォルダから手動で削除する必要があります。

SupplyCare のバックアップとコピーがインストールフォルダから手動で削除された場合、削除された SupplyCare インストールのデータは利用できなくなります。つまり、後から SupplyCare を新たにインストールしても、このデータにアクセスすることはできません。

8 診断およびトラブルシューティング

インストール中にデータベースを初期化できません。

- 考えられる原因：インストール処理が中断されました。
- 対処法：
  - Windows サービスアプリを起動します。
  - Windows サービス SupplyCareEnterprise を選択してサービスを停止します。
  - ...\SupplyCareEnterprise\data\database**supplycare** フォルダをファイルシステムから削除します。
  - Windows サービスアプリを使用して、Windows サービス SupplyCareEnterprise を再起動します。
  - ウェブブラウザを起動し、ブラウザのアドレス行に初期設定用のページアドレスを入力して、ページを再度読み込みます：
    http://localhost:8080/SupplyCareEnterpriseGUI/page/dbinit/InitializeDB
  - 各フィールドに入力して入力内容を保存します。

71781795

www.addresses.endress.com

KA01579S/33/JA/03.26-00
71781795

Endress+Hauser

People for Process Automation